

平成 29 年 7 月 28 日

福岡県緑の少年団交流集会（篠栗）

福岡県緑の少年団連盟主催の交流集会が団員、指導員、主催者等合わせて110名の参加の下、福岡県立社会教育総合センター少年の家（篠栗）で7月28～29日に開催されました。当会は木工クラフト、キャンプファイヤー、自然観察の活動を指導しました。

1日目は知らない人同士であることより、ノーズゲームから始めましたが、全員2問正解で勢いよく木工クラフトに入ることができました。クラフト作りは体験している人が多く、男の子は勢いのある作品、女の子は可愛らしさを前面に出した作品が目立ち、ベテランの森林インストラクターからは「今年は力作ぞろい」との好評がありました。夕食後のキャンプファイヤーも手馴れたもので猛獣がりに行こう、ソーラン節、ジェンカ、マイムマイムなどを大きな声と動きで大人たちを踊りに誘い込みました。また、マシュマロも好評で一人で2個、3個も食べた子もいました。尚、今年の火の神の話は九州北部豪雨に絡め、「森の大切さ」を都会や海の近くで暮らしている人たちにも伝えようとの話でした。



2日目は猛暑の中、元気よく樹木の観察をしながら途中、カモフラージュとイモムシゲームを行いました。カモフラージュでは振り返り前の確認作業で「これが一番難しかったな」などと他の少年団に話しかける場面もあり、交流会の役目を果たしたかなと一安心しました。



2日間とも暑く、体調不良の人が数人出ましたが、事故・ケガ人もなく、無事に終えることができました。

スタッフ

廣、野見山、戸町、溝口、千種、
西田、出口、大森、中村

